

第三者意見・第三者保証

● 第三者意見

サンゲツでは、これまでも環境負荷の低減を実施してきていますが、この度サプライチェーン及びサンゲツの商品を利用している顧客までをも包含した一つの大きなバリューチェーンとして、どう環境配慮活動に取り組むのか、またその上でどのように

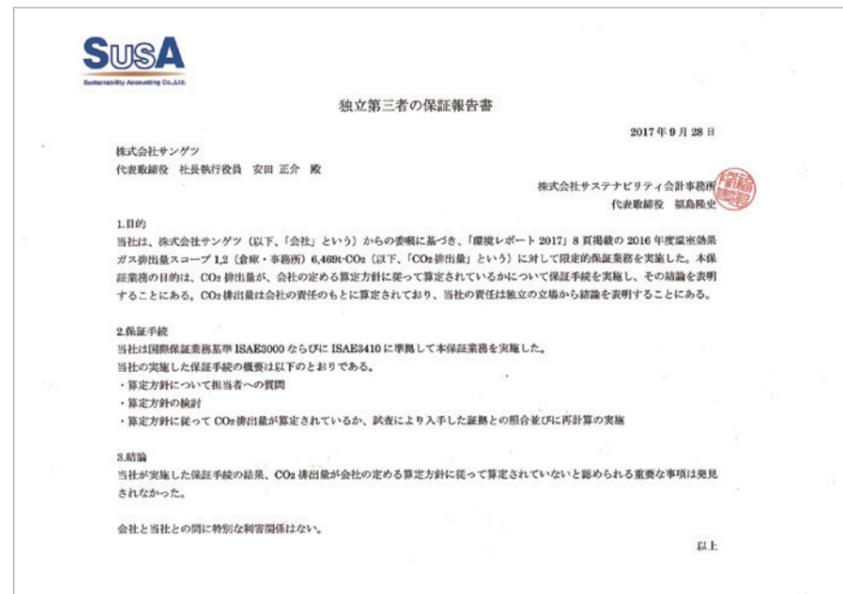
- 環境配慮上での商品利用価値の増大
- 生活/職場環境の彩りの増進
- 商品に付随する環境負荷の低減と資源循環の効率化

を図っていくかを想起されるようになったことには、環境配慮活動としての昇華が感じられます。この昇華とは、環境配慮活動を地球から無償で水や空気といった様々な恩恵をいただいている我々人類として、やらなければならないことという以上に、やっていくべきこと、積極的に前向きな姿勢で取り組むということになります。これは、地球という環境があって初めて経済が成り立つ、そのことへの感謝のもとに環境配慮活動を営んでいくということであり、本来的に求められる姿でもあります。サンゲツが、企業市民としてどのように地球に住まい貢献するのか、またどのように地球環境への負荷を低減していくのかを考え、大きなバリューチェーンとして環境配慮活動に取り組んでいく姿勢を想起・推進し始められたことに、環境に関わる専門家の一人として、大いに心打たれるものを感じています。

今後、サンゲツがより積極的に環境にコミットされ、その環境配慮活動の推進と取り組み姿勢が、企業として地球市民としてどうあるべきかの一つの指標となっていられることを、共に歩みまた見守っていければと思っています。

● 第三者保証

2016年度温室効果ガス排出量スコープ1,2(倉庫・事務所)について、(株)サステナビリティ会計事務所による独立第三者の保証報告書を受領しています。



環境プランニング学会  
理事兼事務局長  
環境プランナー協議会 代表

河野 容久



開示データ

環境目標/実績		2016年度目標		2016年度実績		結果
	取り組み課題					
地球温暖化防止	Scope 1,2のGHG排出量の削減	前年度比 1%減 <sup>※2</sup>	前年度比 1%減	○		○
	エネルギー使用量の削減 <sup>※1</sup>	前年度比 1%減 <sup>※2</sup>	前年度比 9.2%増	×		×
環境負荷の把握	Scope 3カテゴリGHG排出量の把握	—	—	—		—
資源循環	総廃棄量の削減	前年度比 1%減 <sup>※2</sup>	前年度比 1.8%減	○		○
	不要物のリサイクル率の向上	前年度比増(向上)	前年度比 9.1%減	×		×
	グリーン調達推進	—	—	—		—
生物多様性と化学物質による汚染の回避	ホルムアルデヒド放出量の計測、監視の継続	基準値以下 <sup>※3</sup>	基準値以下	○		○
商品を通じた地球環境保全	商品環境情報の数値化と開示	環境配慮商品の開発(省エネ、省資源、ロングライフ、室内環境等)	壁紙・ビニル床シートの軽量化	○		○

※1 エネルギー使用量は事務所・倉庫(省エネ法対象)の範囲としています。  
 ※2 売上高原単位での目標数値としています。  
 ※3 基準値(壁紙): 0.2mg/L以下(デシケーター法)

関連データ

	2014年度	2015年度	2016年度	備考
廃液の流出量	0	0	0	廃液に該当するものの流出はありません
有害廃棄物(医療用、指定有害)の排出量	0	0	0	事業に伴う有害廃棄物(医療用、指定有害)の排出はありません
環境に関する罰金および処罰のコスト	0	0	0	該当はありません
リサイクルされた廃棄物の3年間の排出量(t)	1,355	2,416	1,995	
非リサイクル廃棄物の3年間の排出量(t)	1,965	1,186	1,445	

環境会計

◆ 環境保全コスト

分類	2016年度の主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
事業エリア内コスト					
公害防止コスト	—			0.2	0.2
地球環境保全コスト	本社ビル空調設備更新・ハイブリット車導入	34	47		
資源循環コスト	産業廃棄物の処理			81	65
	一般廃棄物の処理			21	18
	廃棄物のリサイクル等			5	26
上・下流コスト	エコテックス、ISM、シックハウス対策等環境対応商品の登録料及び品質管理試験費用等			22	26
管理活動コスト	ISO関連の維持、審査等			6	5
研究開発コスト	シックハウス対策壁紙大臣認定取得費用				
社会活動コスト	—				
環境損傷対応コスト	—				
合計		34	47	135	140

開示データ

◆環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	2015年度	2016年度	増量減
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	本社ビル空調設備更新によるCO <sub>2</sub> 排出削減量(t)	—	—	—
	電気使用量(千kWh)	10,350	11,320	970
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	産業廃棄物排出量(t)	3,071	3,047	▲24
	一般廃棄物排出量(t)	234	248	14
	リサイクル処理量(t)	2,416	1,995	▲421
事業活動から算出する財・サービスに関する環境保全効果	シックハウス対策壁紙(F☆☆☆☆)の市場流通点数(点)	5,857,000	5,873,372	16,372
その他の環境保全効果	シックハウス対策壁紙大臣認定取得数(点)	4,640	4,097	▲543

◆環境保全対策に伴う経済効果

(百万円)

効果の内容	2015年度	2016年度	増量減	
費用節減	本社ビル空調設備更新による電力費用(太陽光売電)	14	—	—
	本社ビル空調設備更新による灯油費用	—	—	—
	産業廃棄物処理費用	81	65	▲16
	一般廃棄物処理費用	21	18	▲3
収益	リサイクルによる有価物売却収入	1	1	0

\*1 環境省の「環境会計ガイドライン2015年版」に準拠し、社内基準を設定して環境保全コストを算出しています。  
 \*2 対象期間は2016年4月～2017年3月とし、集計対象は株式会社サンゲツ単体のみで、グループ会社を含みません。  
 \*3 設備投資は年度内の環境保全に関わる設備投資額を集計しております。

環境報告ガイドライン対照表

◆環境報告の基本的事項

指標	掲載媒体	掲載箇所	ページ
1. 報告に当たっての基本的要件			
(1) 報告対象組織の範囲・対象期間	本レポート	「編集方針」	P.2
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	本レポート	「編集方針」	P.2
(3) 報告方針	本レポート	「編集方針」	P.2
(4) 公表媒体の方針等	本レポート	「編集方針」	P.2
2. 経営責任者の緒言	本レポート	「Top Message」	P.3
3. 環境報告の概要			
(1) 環境配慮経営等の概要	本レポート	「環境方針」	P.4
(2) KPIの時系列一覧	本レポート	「環境行動計画」	P.6-7
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	本レポート	「環境行動計画」	P.6-7
4. マテリアルバランス	統合報告書	「環境負荷の把握」	P.32

◆「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標

指標	掲載媒体	掲載箇所	ページ
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等			
(1) 環境配慮の方針	本レポート	「環境方針」	P.4
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	本レポート	「Top Message」	P.3
	本レポート	「環境行動計画」	P.6-7
2. 組織体制及びガバナンスの状況			
(1) 環境配慮経営の組織体制等	本レポート	「環境マネジメント」	P.5
(2) 環境リスクマネジメント体制	本レポート	「環境マネジメント」	P.5
	ホームページ	コーポレートガバナンス「リスク管理」	-
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	ホームページ	コーポレートガバナンス「リスク管理」	-
3. ステークホルダーへの対応の状況			
(1) ステークホルダーへの対応	本レポート	「環境コミュニケーション」	P.23
	ホームページ	ステークホルダーの「皆さまとともに」	-
(2) 環境に関する社会貢献活動等	ホームページ	ステークホルダーの「皆さまとともに」「社会とともに」	-
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況			
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	本レポート	「環境マネジメント」	P.5
(2) グリーン購入・調達	本レポート	「環境マネジメント」	P.5
	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.14、17
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.16-22
(4) 環境関連の新技术・研究開発	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.16-22
(5) 環境に配慮した輸送	本レポート	「地球温暖化防止」	P.8
	本レポート	「地球温暖化防止」	P.9
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資等	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.16-17
	本レポート	「開示データ」	P.25-26
(7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	本レポート	「資源循環」	P.11-13

◆「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標

指標	掲載媒体	掲載箇所	ページ
1. 資源・エネルギーの投入状況			
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	本レポート	「地球温暖化防止」	P.8-9
(2) 総物質投入量及びその低減対策	本レポート	「地球温暖化防止」	P.8-9
(3) 水資源投入量及びその低減対策	統合報告書	「環境負荷の把握」	P.32
2. 資源等の循環的利用の状況(事業エリア内)	本レポート	「資源循環」	P.11-13
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況			
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	ホームページ	業績・財務情報「セグメント情報」	-
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	本レポート	「地球温暖化防止」	P.8-9
(3) 総排水量及びその低減対策	統合報告書	「環境負荷の把握」	P.32
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	本レポート	「地球温暖化防止」	P.8-9
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	本レポート	「生物多様性と化学物質による汚染の回避」	P.14
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	本レポート	「資源循環」	P.11
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	本レポート	「生物多様性と化学物質による汚染の回避」	P.14
	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.18-19
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	本レポート	「生物多様性と化学物質による汚染の回避」	P.15

◆「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標

指標	掲載媒体	掲載箇所	ページ
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況			
(1) 事業者における経済的側面の状況	本レポート	「開示データ」	P.25-26
(2) 社会における経済的側面の状況	本レポート	「商品を通じた地球環境保全」	P.20-22
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	本レポート	「Top Message」	P.3

◆その他の記載事項等

指標	掲載媒体	掲載箇所	ページ
1. 後発事象等			
(1) 後発事象	-	該当なし	-
(2) 臨時的事象	-	該当なし	-
2. 環境情報の第三者審査等	本レポート	「第三者意見・第三者保証」	P.24